



9月30日(月)多目的ホールにて、別府副市長 阿南寿和様をお迎えし、敬老週間の記念式典が行われました。当日は、副市長より、お祝いの言葉を頂戴し、入所者を代表して、野田マス子様より、お礼の挨拶をしました。その後、記念品の贈呈が行われ、会は無事に終了しました。



敬老の日



発行元 令和元年10月 発行第40号 社会福祉法人 亀鶴会 偕楽園 特別養護老人ホーム偕楽園 〒874-0904 大分県別府市南荘園町25組 TEL: 0977-22-2515

新聞の名前は、施設で飼っているペットの名前です。

名前: えんちゃん 犬種: トイプードル 性別: 男の子

- 施設の特徴 4つのユニットで構成され、ユニットケアを行っています。 特養: 29部屋(全室個室) 向日葵ユニット(10) 金木犀ユニット(10) 小梅ユニット(9) ショートステイ: (全室個室) 桜ユニット(10)



朝晩と肌寒く、日中は過ごしやすい季節になりました。さて、9月は2名の方が誕生日を迎えられましたので、合同誕生日会を開催しました。そのうち1名は、8月に入所されたばかりで、今回初めての誕生日会でした。職員からプレゼントをお渡しすると、「おおきに」と手を合わせて喜ばれていらっしやいました。会の終了には、集合写真を撮影しました。撮影の際は、緊張のせいかわ、少し表情が硬い様子も見られましたが、徐々に笑顔が見られ、「ひさしぶりやなあ。元気にしちゃった?」と話が弾んだようです。



金木犀ユニット紹介

また、9月25日には、来年2月に百歳を迎えられる河野シズ様に東部保健所の方より、賞状と銀杯が届けられました。賞状に書かれた文章を一生懸命に読んで、「ありがたいなあ」としみじみ感謝されていらっしやいました。皆様がこれからも元気で、楽しく過ごしていただけるようにと思っています。 ユニットリーダー 藤野夏実



朝夕随分と涼しくなり、日増しに秋の気配を感じる季節となりました。ユニットの窓を開けると気持ちのいい風が吹き抜け、利用者の皆様も心地よい風を感じています。

小梅ユニット紹介

9月21日に中間征次郎様の79歳の誕生日会を行いました。日本酒を好ま



れるこの事でお酒を用意させて頂きました。味わいながら少しづつ召上がり、昔のことを思い出しながら時折涙ぐむ姿が見られました。昔話に花が咲き、職員との会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。



えんちゃん日記



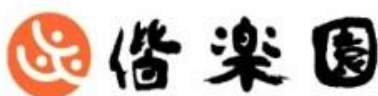
先日、カットに行ってきました。カットが終わると記念に写真を撮ってくれます。今回は、ハロウィン仕様のスタジオで撮影です。

利用者の皆様に毎日、笑顔で過ごしていただきたいと思います。ユニットの目標を「利用者の皆様と職員が笑顔で活気のある生活が送れるように快適な環境づくりを考え、追及する」として、日々、努めていきます。 ユニットリーダー 本田そのえ

ショートステイ利用中の“機能訓練”が充実



10月から、ショートステイでのリハビリ訓練をさせていただく作業療法士の岡崎と申します。 ショートステイでのリハビリとはどんなことをするのかを簡単に説明させていただきます。まず、在宅生活の中で、つまずきやすくなった、段差が上がりづらくなった等の日常生活での困りごとがあれば、それに基づき足の運動や階段昇降の練習等のメニューを考え実施していきます。他にもまだまだ外に散歩や買い物に行く体力をつけたい等あれば実際に外で歩く練習もします。身体を動かすのが億劫な方はマッサージ器具もありますので、あたるだけで、リラックスタイムです。



外部研修報告

●「認知症の人と家族に今できること」
〜他職種協働の大切さ〜

参加者 機能訓練士 岡崎崎典子

令和元年6月28日、別府リハビリテーションセンターで行われた、吉岩あおい先生（大分医大附属病院・総合診療・総合内科学）による「認知症の人と家族に今できること」多職種協働の大切さに参加しました。

高齢化が進み寿命が延びる一方で、健康にみえて運動器疾患を持つサルコペニア（加齢による筋肉低下）、フレイル（虚弱）、ロコモティブシンドローム（介護が必要な運動器の障害）がある。フレイルで踏ん張れば、健康に戻ることもある。



認知症も60%を占めるアルツハイマー型認知症では、初期症状として、同じことを何度も言う、置く置き忘れ、ささいなことで怒りっぽくなる等がみられ、日常生活で出来ていたこと（買い物や料理等）が出来なくなる。大事なものは、日常生活が出来なくなる前の初期症状の段階で治療する事である。（早期発見・早期治療）

認知症の方の接し方として、不穏時は、話を聴く・環境を整える・身体を動かす、物盗られ妄想がある時は、環境に配慮する・感謝する、いずれも傾聴する、環境を整える、感謝することが大事であり、基本は、否定せず優しい態度で接する。認知症の方は、記憶はなくても、感情は覚えており、また、75%が笑顔を認識できるといふ。私自身、認知症の方と関わりを感じるのが、よく職員の様子を見ていて、職員に敏感であるという事。



余裕がない時やイライラしてしまう時、一度、自分の表情に気づけて接していきたいと思えました。

●「別府老人福祉施設 栄養士研究会」
参加者 栄養士 藤野 理恵

令和元年7月9日、別府市保健センター湯のまちけんこうパークで開催された「高齢者に喜ばれる懐かしいおやつ」の研修会に参加しました。

最初に講師の管理栄養士・衛藤寿恵氏の講和があり、その後、3班にわかれて、調理実習が行われました。

この日のメニューは、「お家で作れる和菓子」ということで、

- ・おはぎ
- ・くり饅頭
- ・人参クレープ
- ・小倉抹茶
- ・和風ゼリー



の5種類でした。今回は、おはぎ（ぼた餅）の紹介をしたいと思います。

● おはぎ（ぼた餅）の作り方 12個分

～ 材料 ～

- もち米 1合
- 砂糖 20g
- 塩 1g
- 小豆あん 500g

～ 作り方 ～

- ① もち米は一晩水に浸して炊飯する。（炊飯器でやわらかめに炊く）
- ② ①が炊けたら砂糖・塩を加えて、よくつく。
- ③ ②を12等分し、あんに包む。



※小豆あんは市販の物でもよいが、手作りする場合は、小豆1kgに砂糖900g、塩小さじ1杯強で煮て作る。
もち米も半分は白米を混ぜたり、もち米が無理な場合は、里芋と長芋を蒸してつぶし、丸めて小豆あん（こし）で包んでも良いです。
小豆のほかに、きなこ・ごま・青のりなどを使っても良いです。

内部研修報告

月に1回、グループホーム、居宅、訪問介護の職員と合同で、職場内研修を行っています。外部研修会に参加した内容や旬のテーマを全員で共有し、利用者の皆様によりよいケアが提供できることを目的としています。



●7月のテーマ
『施設事故の本質』について
生活相談員 土田忠志

他施設の事故事例（誤薬）を参考に介護の品質とは何かを考え、緊張感を持って業務を遂行する重要性を理解する。

●8月のテーマ
『身体拘束・虐待について』
生活相談員 土田忠志

虐待の種類（身体的、心理的、性的、経済的、介護の放棄等）を知り、施設における虐待の具体的な事例をもとに虐待防止に取り組む。

インフルエンザを知って「予防」する

●感染経路

1. 飛沫（ひまつ）感染
感染者のくしゃみや咳で飛散したウイルスを吸い込む事で感染します。
2. 接触感染
感染者が手のひらで口を抑えることにより、手にウイルスが付着し、その手を洗わずに触れたところにウイルスが残ります。そこを後から触った人が、自分の鼻や口に触れ、感染します。

●一般的な予防方法

1. マスク着用：鼻と口を覆う
2. 手洗い：触れたかもしれないウイルスを洗い流す
3. うがい：帰宅後に口やのどに付着したかもしれないウイルスを洗い流す。

今月の作品

施設の2階廊下に飾られた作品には、いつも季節感が溢れ、忙しい日常業務の中で、季節の移り変わりを感ずる癒しの空間になっています。どの作品も丁寧に一生懸命作られた作品です。癒しの空間を提供していただいて、利用者みなさんに「感謝」です。



職員募集

～ 私たちと一緒に働きませんか ～



●特別養護老人ホーム

◇介護職員（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 13:00～22:00
- ③ 22:00～7:00

①～③のローテーション
・食事、介助、入浴介助、レクリエーション等

◇宿直

- 17:30～8:30
- ・巡視及び点検、記録業務、施設犬の世話等

◇看護師（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 9:00～18:00
- ③ 10:00～19:00

①～③のローテーション
・看護師免許（正・准）の何れか
・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

◇看護師（バ）

- ① 7:00～11:00

・看護師免許（正・准）の何れか
・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

●グループホーム

◇介護職員（正）

- ① 7:00～16:00
- ② 10:30～19:30
- ③ 16:30～9:30

①～③のローテーション
・食事、介助、入浴介助、レクリエーション等

●ヘルパーステーション

◇ホームヘルパー

9:00～18:00の間の2時間以上
・高齢者宅における身体介助、日常生活支援

● ご不明な点などございましたら、気軽にご連絡下さい。（担当：大山、塩田 22-2515）

『お願い』と『お知らせ』

- 10月より ご面会にいらした際は、手指消毒とマスクの着用をお願いします。
 - 11月より 面会時間を9:00～18:00に制限させていただきます。
 - 11月より ショートステイご利用者にも検温をお願いします。
- ※ 感染予防のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。